

## 医療機関情報

病院名

薬局名

電話番号

電話番号

担当医師

### 【お問い合わせ先】

治療、副作用などの詳しい質問がございましたら、主治医や薬剤師にお問い合わせください。  
製品に関するお問い合わせは以下の連絡先でも受け付けております。  
なお、個別の症状等に関して医学的な判断や指導、アドバイス等を提供するものではありません。

アルジェニクスジャパン株式会社 患者さん向けコールセンター

電話：0120-734-065（フリーダイヤル）

受付時間：8：00～22：00（土日祝日含む）

アルジェニクスジャパン株式会社

JP-VDJCIDP-25-00775  
(2026年1月作成)

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジによる  
治療を受ける患者さんご家族へ

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジ

# 自己注射 ガイドブック



argenx



## はじめに

- このガイドブックでは、患者さんやご家族の方に、ヒフデュラ®配合皮下注シリンジを安全に正しくご使用いただくためのポイントと手順を解説しています。
- ヒフデュラ®は、IgG自己抗体を含むIgGをリサイクル(再利用)する胎児性Fc受容体(FcRn)のはたらきを阻害し、IgGの血中濃度を下げerお薬です。
- ヒフデュラ®は、主治医の判断のもと病院内での投与のほか、ご自宅などでの自己注射も可能なお薬です。
- 自己注射に関する説明やトレーニング後に、患者さんやご家族の方が注射手技や注意事項を理解して確実に実施できることを確認した上で、自己注射を開始するかどうか判断されます。

このガイドブックをよくお読みいただき、少しでもわからないことや不安なことがありましたら、主治医もしくは看護師、薬剤師にご相談ください。

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジの自己注射の方法は動画でも紹介しています。



ヒフデュラ®の自己注射手技に関するお問い合わせは、患者さん向けコールセンターもご利用いただけます。

### 患者さん向けコールセンター

ヒフデュラ®の自己注射手技に関する患者さんからの一般的なお問い合わせにお答えいたします。

0120-734-065 受付時間/8:00~22:00  
(土日祝日含む)



- ・ お薬の注射方法に関しては、主治医の指導に従ってください。
- ・ お薬の使用により体調の変化や気になる症状があらわれた場合には、速やかに主治医に連絡してください。
- ・ お薬に不具合がある場合には、速やかに医療機関に連絡してください。
- ・ お薬の廃棄方法に関しては、医療機関の指示に従ってください。

## 目次

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジとは	4
お薬の保管	5
注射の準備	
注射に必要な物品の用意	6
自己注射補助具について	8
注射部位の決定	9
自己注射補助具を使用する場合	
自己注射補助具の取り付け方	10
注射の仕方	11
自己注射補助具の取りはずし方	13
自己注射補助具を使用しない場合	
注射の仕方	14
ご注意いただきたい症状(副作用)	16
困ったときは(Q&A)	17
ヒフデュラ®自宅配送サービスL1MON(リムオン)のご紹介	18

# ヒフデュラ®配合皮下注シリンジとは

- ヒフデュラ®の有効成分エフガルチギモドは、2022年からgMGの治療に、2024年からはCIDPの治療にも使用されています。これまではバイアル製剤が用いられてきましたが、薬液があらかじめ充填されたプレフィルドシリンジ製剤が新たに登場しました。

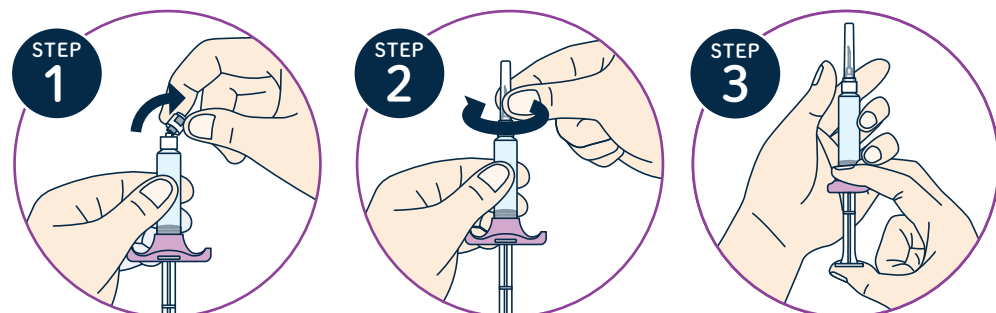
gMG:全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)、  
CIDP:慢性炎症性脱髄性多発根神経炎

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジは、薬液があらかじめ充填されたプレフィルドシリンジ製剤です。



ヒフデュラ®配合皮下注シリンジは、投与手順がやさしくなったことで、在宅での自己注射や医療機関での投与の利便性向上が期待されます。

## ヒフデュラ®配合皮下注シリンジは3ステップで投与準備可能です。



# お薬の保管

お薬(ヒフデュラ®)は**冷蔵庫(2~8℃)で外箱(遮光)のまま保管**してください。

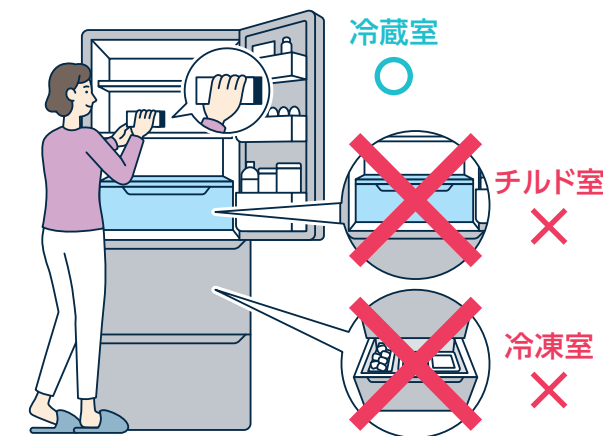
## 持ち帰り方

- お薬(ヒフデュラ®)をご自宅に持ち帰る際など、外で持ち運ぶ場合には、温度管理のため、保冷バッグをご使用ください。



## ご自宅などでの保管

- ご自宅などに持ち帰られた後は、速やかに外箱のまま2~8℃の冷蔵庫で凍結を避けて保管してください。
- やむを得ず、2~8℃で保存できない場合は、外箱に入れ8℃超30℃以下で14日以内に使用してください。
- 冷蔵庫の外で保存した場合は、再び冷蔵庫に戻さないでください。
- お子さまの手が届かない場所に保管し、使用するまで取り出さないでください。



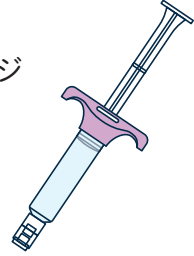
! 冷蔵庫内に保管し、冷凍室・チルド室での保管は避けてください。

# 注射の準備（注射に必要な物品の用意）

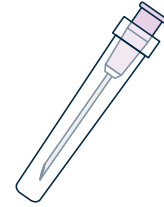
● 注射に必要な以下の物品がそろっているか ✓ を入れて確認してください。

## 医療機関から必ず提供されるもの

ヒフデュラ®  
配合皮下注シリンジ



注射針

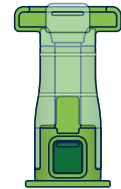


アルコール綿

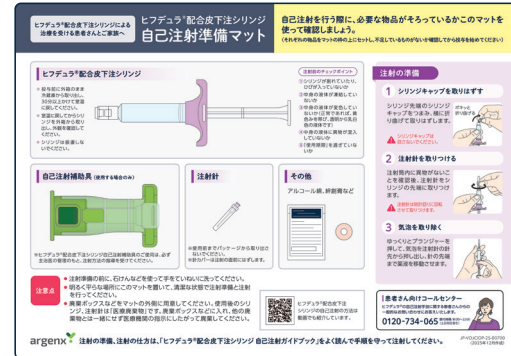


## 医療機関から任意で提供されるもの

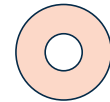
自己注射補助具



準備マット



絆創膏



廃棄ボックス



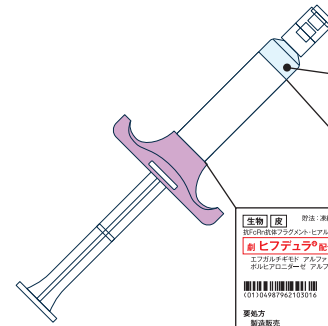
必要に応じてご自身で  
用意していただくもの

ガーゼ  タイマー

## 薬剤投与前の注意

- 投与前に外箱のまま冷蔵庫から取り出し、30分以上かけて室温に戻してください。
- 室温に戻してからシリンジを外箱から取り出し、外観を確認してください。
- シリンジは振盪しないでください。

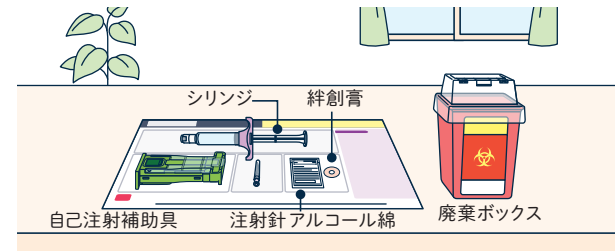
## チェックポイント



- ① シリンジが割れていたり、ひびが入っていないか
- ② 中身の液体が凍結していないか
- ③ 中身の液体が変色していないか（正常であれば、黄色みを帯び、透明から乳白色の液体です）
- ④ 中身の液体に異物が混入していないか
- ⑤ 「使用期限」を過ぎていないか

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジを箱から取り出し、左に記載したチェックポイントを確認します。

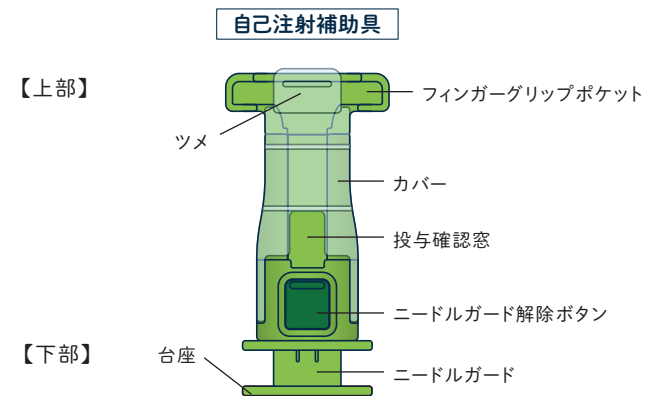
薬剤は長時間室温で放置しないようにしてください。



環境を整え、石けんなどで手を洗い、注射に必要な物品を並べます。

- 作業する場所は明るく平らな場所を選んでください。
- 作業する場所を清潔にしてください。

## ヒフデュラ®配合皮下注シリンジ専用 自己注射補助具の各部名称



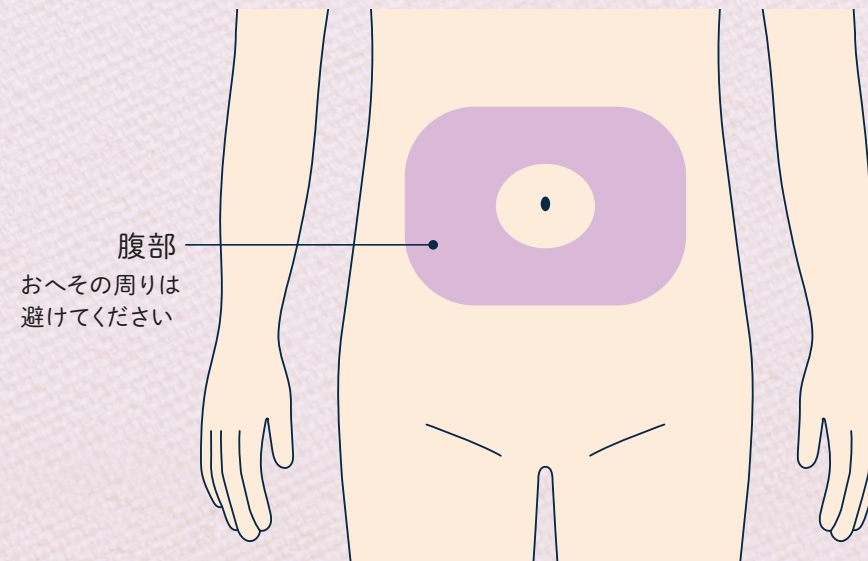
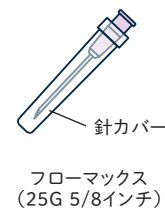
**注意**

※自己注射補助具には、ヒフデュラ®配合皮下注シリンジと指定された注射針を必ずお使いください。

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジ



注射針



**注意点**

- おへその周り5cm以内は避けてください。
- 前回とは違う部位に注射してください。
- 赤みのある部位、傷や傷あと、あざ、痛みを感じる部位、硬い部位、ほくろのある部位などは避けてください。

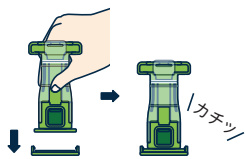
## ヒフデュラ®配合皮下注シリンジ専用 自己注射補助具アジャスター



- 本品はヒフデュラ®配合皮下注シリンジ専用 自己注射補助具の専用パーツです。
- アジャスターを自己注射補助具に取り付けることで、皮下への穿刺距離を浅く調整することができます。
- アジャスター取り付けの要否は、主治医の指示に従ってください。

**アジャスターの取り付け方**

アジャスターを使用する場合はヒフデュラ®配合皮下注シリンジの取り付け前に行います。



アジャスターを取りつけた後、以降の手順にしたがって自己注射を行ってください。自己注射補助具の台座部分に、カチッと音がするまでアジャスターをはめ込みます。



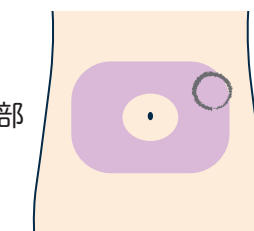
・詳しくは、医療機関でのトレーニングの時に確認してください。

前回と同じ部位への注射を避けるため、「自己注射チェックシート」(別紙)などの注射部位記入欄に注射した部位と日付を記入しておきましょう。

記入例

注射日：3/17 (金) 腹部

右・左



「自己注射補助具を使用しない場合」はp14から解説しています。

## 自己注射補助具を使用する場合

# 自己注射補助具の取り付け方

(アジャスターを取りつけて自己注射補助具を使用する場合はp8を確認してください)

**STEP 1** シリンジキャップを取りはずす



ポキッと折り曲げる

シリンジ先端のシリンジキャップをつまみ、横に折り曲げて取りはずします。

❗ シリンジキャップは回さないでください。

**STEP 2** 注射針を取りつける



注射針は時計回りに回転させて取りつきます。

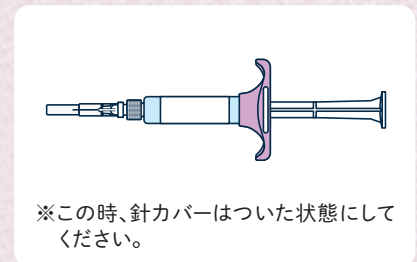
注射筒内に異物がないことを確認後、注射針をシリンジの先端に取りつけます。

**STEP 3** 気泡を取り除く

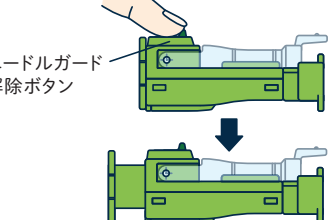


ゆっくりとプランジャーを押し、気泡を注射針の針先から押し出し、針の先端まで薬液を移動させます。

自己注射補助具への取り付けに移ります。



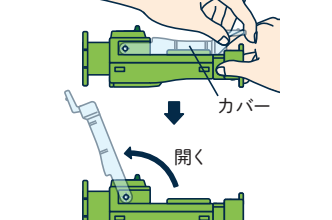
**STEP 4** ニードルガードを解除する



ニードルガード解除ボタン

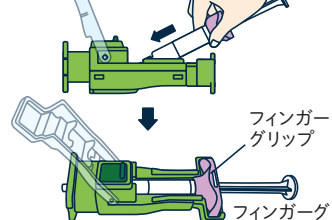
ニードルガード解除ボタンを押します。ニードルガードが自己注射補助具の本体から出ている状態にしてください。

**STEP 5** カバーを開く



カバー  
開く

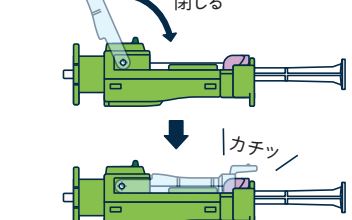
**STEP 6** シリンジを装着する



フィンガーグリップ  
フィンガーグリップポケット

自己注射補助具の上部からヒフデユラ®配合皮下注シリンジを差し込みます。フィンガーグリップがフィンガーグリップポケットの溝におさまるように入れてください。

**STEP 7** カバーを閉じる



閉じる  
カチッ

カバーを閉じてください。カチッと音がすると、ヒフデユラ®配合皮下注シリンジが固定されます。

## 自己注射補助具を使用する場合

# 注射の仕方

(アジャスターを取りつけて自己注射補助具を使用する場合はp8を確認してください)

**STEP 1** 注射部位を消毒する

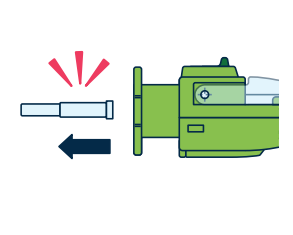


中心から外側へと円を描くように優しくふきます。

注射部位をアルコール綿で消毒し、自然に乾燥させます。

❗ 消毒した部位には注射するまで触れないでください。

**STEP 2** 針カバーを取りはずす

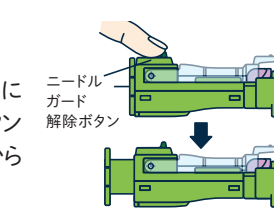


針カバーをゆっくりと引っ張ってははずします。

❗ 針カバーをひねらないでください。

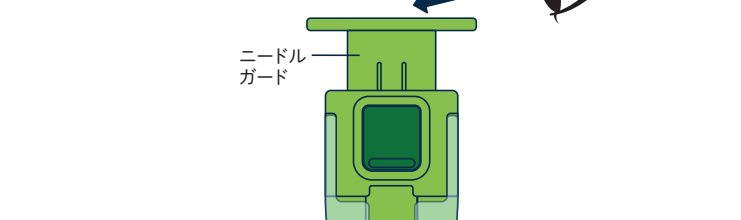
**補足事項①**

針カバーをはずす際に、ニードルガードが本体内部に押し込まれロックされた場合、ニードルガード解除ボタンを押して、ニードルガードが自己注射補助具の本体から出ている状態にしてから次の手順に進んでください。



ニードルガード解除ボタン

**STEP 3** 針が隠れているか確認する

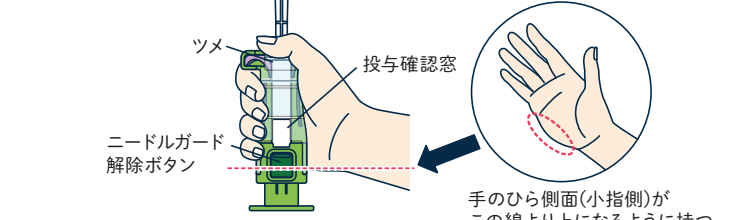


ニードルガード

ニードルガードで針が全て隠された状態であることを確認してください。

❗ ニードルガードが本体内部に押し込まれロックされている場合は、ニードルガード解除ボタンを押してニードルガードが自己注射補助具の本体から出ている状態にしてください。

**STEP 4** 補助具を持つ

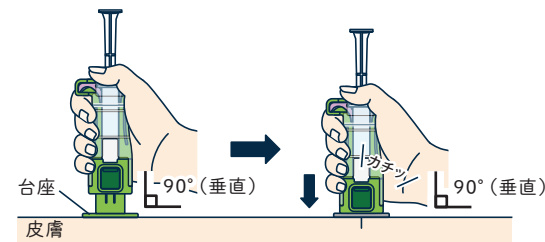


ツメ  
投与確認窓  
ニードルガード解除ボタン  
手のひら側面(小指側)がこの線より上になるように持つ

カバーのツメに親指を添え、片手で自己注射補助具を持ちます。

❗ ニードルガード解除ボタンの下部よりも下に手のひらや手首がかからないように注意して持ってください。  
・投与確認窓を指でふさがないように持ってください。

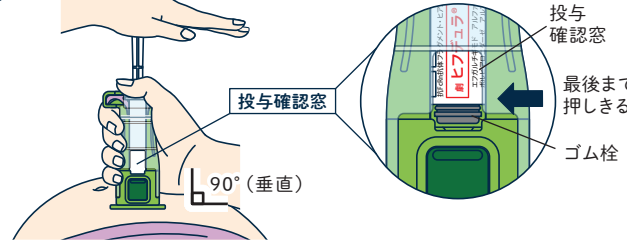
STEP 5 注射部位に針を刺す



台座を皮膚に垂直に当て、ピッタリと密着させたまま注射部位に押し込み、針を刺します。ニードルガードがカチッとロックされると、正しく針が刺さっている状態です。

- ・ニードルガードの台座部分が皮膚から浮いた状態では正しく注射ができなくなるので、投与が完了するまでは、皮膚に押し当てた力を緩めないよう注意してください。

STEP 6 薬液を注入する



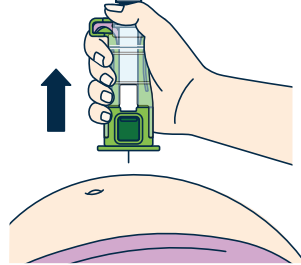
反対の手でプランジャーを一定の力でゆっくり押し、通常20～30秒かけて薬液を全量注入します。

- ・時間をかけて注入することで、痛みが軽減されることもあります。
- ・投与が完了するまでは自己注射補助具が皮膚から浮かないよう注意してください。

補足事項②

投与確認窓から、プランジャーのゴム栓がそれ以上進まないことを確認してください。

STEP 7 注射部位から針を抜く



薬液を全量注入したことを確認した後に、注射針を抜きます。

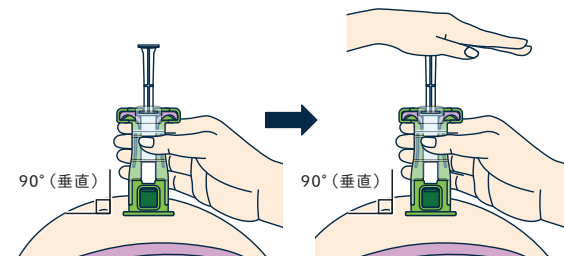
- ・出血がある場合は、出血が止まるまでアルコール綿、ガーゼなどで軽く押さえてください。
- ・注射部位に絆創膏を貼ってください。

補足事項③

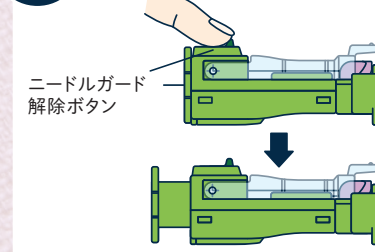
手が大きい方の自己注射補助具の持ち方

自己注射補助具を持った際に、投与確認窓が指で隠れてしまったり、ニードルガード解除ボタンより下に手のひらや手首がかかってしまう方は、指先で自己注射補助具を持つことで打ちやすくなります。

- ・詳しくは、医療機関でのトレーニングの時に確認してください。

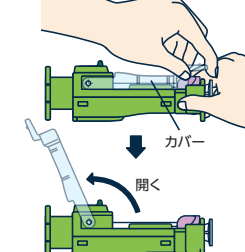


STEP 1 ニードルガードを戻す

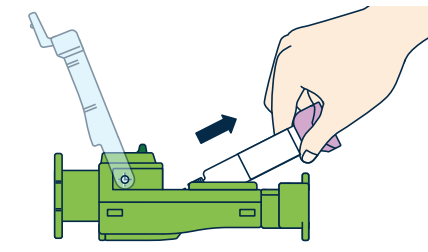


注射後、ニードルガード解除ボタンを押してニードルガードを戻します。

STEP 2 カバーを開く



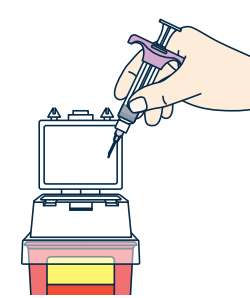
STEP 3 シリンジを取りはずす



自己注射補助具からヒフデュラ®配合皮下注シリンジを取りはずします。

- ・自己注射補助具をはずしたはずみで、指などを刺さないように注意してください。
- ・注射針に針カバーをつけないでください。(針刺し事故の他、針曲がりや針折れにつながる恐れがあります。)

STEP 4 注射針とシリンジを廃棄する



注射針、シリンジの再利用はできません。自己注射補助具から取りはずした後は、専用の廃棄ボックスなどに廃棄してください。

- ・注射針は針カバーをつけずに廃棄してください。
  - ・注射針はシリンジから取りはずさないで廃棄してください。
  - ・廃棄物を入れた廃棄ボックスなどは、お子さまの手が届かない場所に保管してください。
- アルコール綿などは家庭ゴミとして廃棄してください。

注射針とシリンジはそのまま廃棄ボックスなどに廃棄します。

自己注射補助具の保管方法



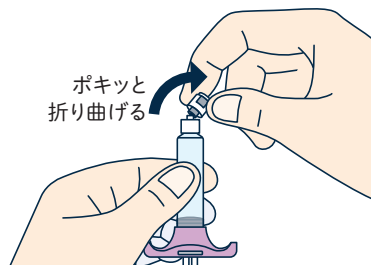
自己注射補助具は繰り返し使用します。使用後は、水で濡らした布やアルコール綿でふいて清潔に保管してください。アルコール綿などは家庭ゴミとして廃棄してください。



ニードルガードを本体内部に押し入れロックされた状態で保管してください。

# 自己注射補助具を使用しない場合 注射の仕方

## STEP 1 シリンジキャップを取りはずす



シリンジ先端のシリンジキャップをつまみ、横に折り曲げて取りはずします。

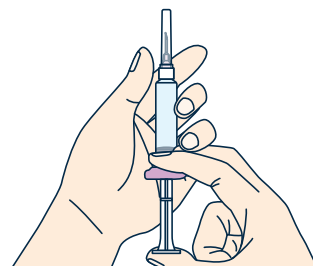
❗ ・シリンジキャップは回さないでください。

## STEP 2 注射針を取りつける



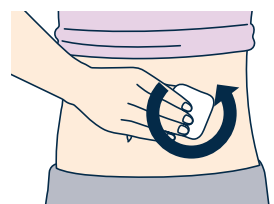
注射筒内に異物がないことを確認後、注射針をシリンジの先端に取りつけます。

## STEP 3 気泡を取り除く



ゆっくりとプランジャーを押し、気泡を注射針の針先から押し出し、針の先端まで薬液を移動させます。

## STEP 4 注射部位を消毒する

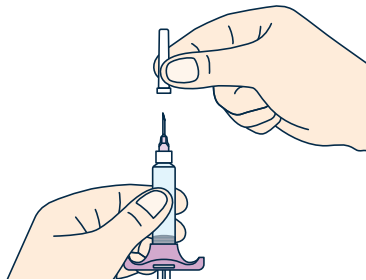


中心から外側へと円を描くように優しくふきます。

注射部位をアルコール綿で消毒し、自然に乾燥させます。

❗ ・消毒した部位には注射するまで触れないでください。

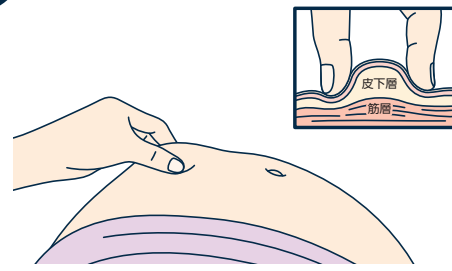
## STEP 5 針カバーを取りはずす



針カバーをゆっくりと引っ張ってははずします。

❗ ・針カバーをひねらないでください。

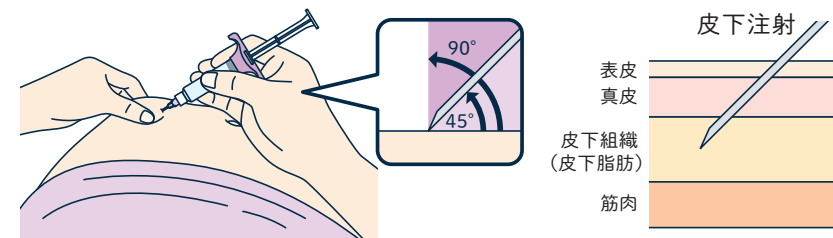
## STEP 6 皮膚の「テント」を作る



利き手と反対の手で注射部位の皮膚を優しくつまみ、皮膚の「テント」を作ります。

・皮膚の中に針が入る十分なスペースができるように「テント」を作ってください。

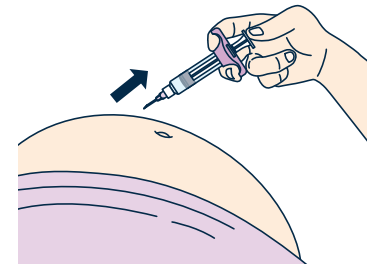
## STEP 7 注射部位に針を刺す



利き手で注射筒を持ち、皮膚の「テント」の真ん中に注射針を45～90度の角度で優しく刺します。

・皮膚をつまむ方向と針を刺す方向を直線上にすると刺しやすいです。

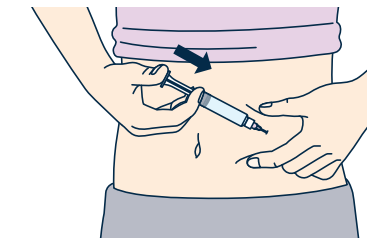
## STEP 9 注射部位から針を抜く



薬液を全量注入したことを確認した後に、皮膚をつまんでいた手をはなし、注射針を刺した角度と同じ角度で抜きます。

❗ ・出血がある場合は、出血が止まるまでアルコール綿、ガーゼなどで軽く押さえてください。  
・注射部位に絆創膏を貼ってください。

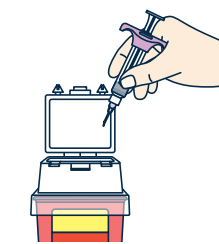
## STEP 8 薬液を注入する



利き手でプランジャーを一定の力でゆっくり押し、通常、20～30秒かけて薬液を全量注入します。

❗ ・時間をかけて注入することで、痛みが軽減されることもあります。

## STEP 10 注射針とシリンジを廃棄する



注射針、シリンジの再利用はできません。専用の廃棄ボックスなどに廃棄してください。

❗ ・注射針は針カバーをつけずに廃棄してください。  
・注射針はシリンジから取りはずさないで廃棄してください。  
・廃棄物を入れた廃棄ボックスなどは、お子さまの手が届かない場所に保管してください。  
アルコール綿などは家庭ゴミとして廃棄してください。

注射針とシリンジはそのまま廃棄ボックスなどに廃棄します。

## ご注意いただきたい症状（副作用）

ヒフデュラ®配合皮下注シリンジの投与期間中は、特に感染症およびショック、アナフィラキシーに注意してください。以下のような症状があらわれたら、速やかに主治医または看護師にお知らせください。

### 感染症

・かぜのような症状（発熱、のどの痛み、咳・痰、くしゃみ、鼻水）



・腹痛、下痢



・尿路感染



・皮膚のチクチクする痛み、水ぶくれを伴う赤い発疹（帯状疱疹）



### ショック、アナフィラキシー

全身のかゆみ、蕁麻疹、喉のかゆみ、ふらつき、ドキドキする、息苦しいなどの症状がみられることがあります。

その他、以下の副作用があらわれることがあります。体調の変化や気になる症状があらわれたら、主治医または看護師にお知らせください。

### 注射部位反応

注射部位が赤くなる、痛くなる、かゆくなる、発疹が出るなどの症状がみられることがあります。

### 過敏症反応

顔面浮腫、蕁麻疹が出るなどの症状がみられることがあります。

頭痛

疲労

浮動性めまい

悪心、嘔吐

リンパ球数減少

好中球数増加

発疹

アレルギー反応

## 困ったときは（Q&A）

### こんなときは、どうすればいい？

#### Q ヒフデュラ®配合皮下注シリンジを2～8℃で保存できなかった

外箱に入れ8℃超30℃以下で14日以内に使用してください。冷蔵庫の外で保存した場合は、再び冷蔵庫に戻さないでください。

#### Q ヒフデュラ®配合皮下注シリンジを間違えて凍らせてしまった

凍らせると薬が変質する可能性があるため、その薬は使わずに速やかに医療機関に連絡してください。

#### Q 注射途中で注射針がはずれて、薬がもれてしまった

注射を中止し、速やかに医療機関に連絡してください。

#### Q ヒフデュラ®配合皮下注シリンジを落としてしまった

シリンジに割れやひびがある場合は、廃棄ボックスなどに廃棄し、速やかに医療機関に連絡してください。割れやひびがなく、中身の液体に変色などがなければ、使用しても問題ありません。

#### Q 注射途中で痛みがだんだん激しくなったため、中止したい

医療機関でのトレーニング時よりも痛みが激しくなった場合には注射を中止してください。速やかに医療機関に連絡し、次の注射について相談してください。

#### Q 予定していた投与日に投与できなかった

予定していた投与日から3日以内であればすぐに投与してください。その後は元の予定日に投与してください。3日を超えている場合は投与せず、次の予定日に投与してください。

